

7. 破損・汚損の防止

(1) ブッカーによるコーティング

ブッカーのようなビニールコートでカバーすることで、水ぬれしにくくなり、防止になる。

(2) ノドの割れ予防

薄い冊子などで、ページがはずれやすいものは、貸出に出す前に、あらかじめページヘルパーで割れやすいノドなどを補強しておく。

(3) 付録の地図や折りたたみの絵など

要らなくなった封筒の紙などを使って、地図や絵などを入れる別の袋を作り、本につけるか、本体からはずれないようにページヘルパーであらかじめつけておく。

(4) 本を大事に使ってもらうために子どもたちに呼びかけてみましょう。

お願い

- ・ジュースやお菓子をこぼさないように。
- ・落書きしたり切り取ったりしないように。
- ・雨のときは、本がぬれないように気をつけよう。
- ・次に読む人のことを考えよう。
- ・みんなの本を大切にしましょう。



参考文献:「図書館員のための補修マニュアル」教育史料出版会(2000年)
(川西市立中央図書館、所蔵)

「防ぐ技術・治す技術」学校法人 日本図書館協会(2005年)

インターネットのHPなど

キーワード、「本の修理」で他の図書館のHPにのっている修理の仕方を解説しているところもあります。

国会図書館のHP→図書館員の方へ→図書館員の研修→平成27年度→資料保存研修→資料 など。